

農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

【平成30年12月6日（木）】

◆調査箇所：農林水産研究指導センター農業研究部（豊後大野市三重町赤嶺）

＜概要＞

農林水産研究指導センター農業研究部では、いちごやピーマン等の品種育成及び選定、栽培技術の確立を行っている。昨年12月に発表された大分県オリジナルいちご「ベリーツ」は、これまでの主力品種「さがほのか」と比較して、鮮やかな赤色、高糖度、果実の硬さ、厳冬期の収量の4点で優れた特徴があり、今年度は県内全域で栽培が開始されるなど、生産者の品種転換が進んでいる。

今回の調査では、ベリーツ誕生までの経過や栽培支援について説明を受け、試験栽培の様子を視察した。



＜主な質疑等＞

- ・ハダニなど病害虫対策について
- ・苗の供給体制について
- ・今後のプロモーション活動について

◆調査箇所：有限会社お花屋さんぶんど清川（豊後大野市清川町）

＜概要＞

有限会社お花屋さんぶんど清川では、輪ギクの周年栽培を行い、主に関東方面へ業務用の出荷を行っている。同社は人材育成にも力を注いでおり、常時数名の研修生を受け入れ、独立した研修生がのれん分けとして豊後大野市内に「お花屋さんぶんど大野生産組合」や「お花屋さんぶんど穴井」を設立するなど、県内のキク生産量拡大に大きく貢献している。また、外国人研修生を3か国から受け入れ、日本語でコミュニケーションを行い、一緒に食事をとるなど、家庭的な雰囲気の中で農作業を行っている。

今回の調査では、会社概要及び輪ギクの周年栽培・出荷について説明を受け、施設及び研修生の農作業の様子を視察した。



＜主な質疑等＞

- ・輪ギクの生産量と出荷先について
- ・のれん分け制度について
- ・外国人研修生制度について